

~エコ・チャレンジシートってなに?~



私たち人間は、ふつうに生活しているだけで 電気やガス・ごみの処理などにたくさんのエネルギーを使い、 地球温暖化など、地球環境に大きな影響を与えています。

この「エコ・チャレンジシート」は、みんなの家から出る "あき缶、ペットボトル、紙(牛乳)パック"の量を記録して リサイクルできる資源のムダづかいをしていないかを チェックするためのものなんだ。

みんなも家族の人と一緒につけてみよう♪



○ みんなのお家で使った ジュース お茶 牛乳 などの 「あき缶」「ペットボトル」「紙(牛乳)パック」をチェックしてみよう





注意 リサイクルマークに注目!

リサイクルできる容器には、下の表のようなリサイクルマークがついているけれど、 紙パックの中には、リサイクルできないものもあります。その場合リサイクル マークがついていないよ。

☆ それぞれのリサイクルマーク

あき缶	ペットボトル	紙(牛乳)パック
スチール あき缶はリサイクルへ	ري PET	紙パック



○ 本数の数え方容器にはいろいろな大きさがあります。大きさごとに次のような数え方をしよう

あき缶		ペットボトル		紙(牛乳)パック	7
350 ミリリットルまで	1本	350 ミリリットルまで	0.5本	500 ミリリットルより小さい	0.5本
500ミリリットル以上	2本	351~500 ミリリットル	1本	500 ミリ リットル	1本
		501 ミリリットルより大きい	2本	1リットルより大きい	2本

≪1週間目 (/ ~ /) ≫

あなたのお家で使った「あき缶」「ペットボトル」「紙(牛乳)パック」の本数を下の表に記入しよう。

<「あき缶」「ペットボトル」「紙(牛乳)パック」の本数>

日	付	日	日	日	日	日	日	日
あき缶	アルミ	本	本	本	本	本	本	本
	スチール	本	本	本	本	本	本	本
ペットボー	トル	本	本	本	本	本	本	本
紙(牛乳)	パック	本	本	本	本	本	本	本

☆ 1週間の調査が終わったら、この1週間の出た数を合計してみよう。 また、リサイクルに出した本数も合計してみよう。

■☆ 調査をしてみて気づいたことがあったら書いてみよう。

メモ:

項目		この1週間の 合計本数	リサイクルに 出した本数	
あき缶	アルミ	本	本	
о) С Д	スチール	本	本	
ペットボトル		本	本	
紙(牛乳	L) パック	本	本	

≪2週間目 (/ ~ /) ≫

もう1週間、あなたのお家で使った「あき缶」「ペットボトル」「紙(牛乳)パック」の本数を下の表に記入しよう。

<「あき缶」「ペットボトル」「紙(牛乳)パック」の本数>

日	付	日	日	日	日	日	日	日
あき缶	アルミ	本	本	本	本	本	本	本
	スチール	本	本	本	本	本	本	本
ペットボト	・ ル	本	本	本	本	本	本	本
紙(牛乳)	パック	本	本	本	本	本	本	本

☆ この1週間で出た本数、リサイクルに出した本数を合計してみよう。

☆ 1週間目と比べて気づいたことがあれば書いてみよう。

気づいたこと:

項	目	この1週間の 合計本数	リサイクルに 出した本数	
あき缶	アルミ	本	本	
ч) С Щ	スチール	本	本	
ペットボ	ドトル	本	本	
紙(牛乳	〕パック	本	本	

≪2週間のまとめ≫

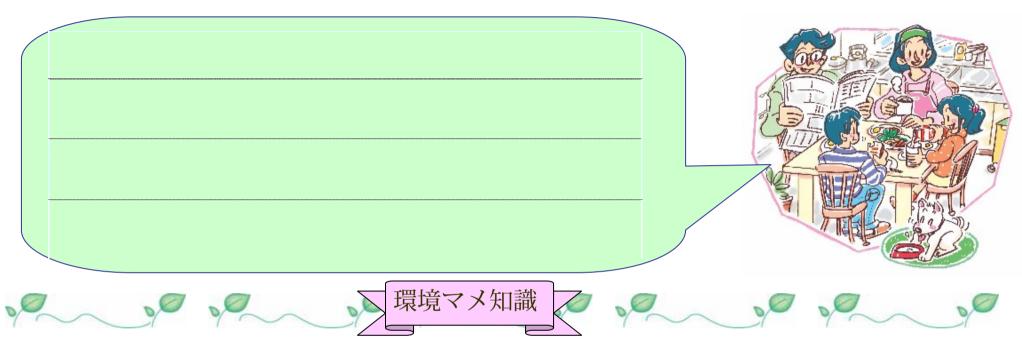
		1 边	1 週目			2週間の合計	
		合計本数	リサイクル 本数	合計本数	リサイクル 本数	合計本数	リサイクル 本数
あき缶	アルミ	本	本	本	本	本	本
69 C [A]	スチール	本	本	本	本	本	本
ペットオ	ドトル	本	本	本	本	本	本
紙(牛乳	L)パック	本	本	本	本	本	本

○ ふりかえってみよう

ここでこの2週間をふりかえってみましょう。記録をみながら、次の質問に答えてください。

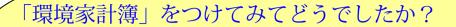
Q 1	もっともたくさん使用 だれが使ったのかな?	Q 2 もっとも本数が少ない日はいつ? どうして少なかったのかな?			
	あき缶	あき缶	^	ペットボトル	
Q 3	リサイクルをした?し	<i>、</i> なかった?どうしてかな?	Q4 リサイクルル	はどこに出したかな	
	あき缶	ペットボトル	あき缶	ペットボトル	紙(牛乳)パック

○ 家族で話し合ったこと



- 缶から缶へ(CAN TO CAN)、何度でも繰り返してリサイクルができます。
- ペットボトル25本で、1枚のリサイクルフリースを製造することができます。
- 約30個の牛乳パックで、4~5ロールのトイレットペーパーが再生できます。





たくさんリサイクルできた、あまりリサイクルできなかった いろいろな家があったと思います。

これまでごみとして捨てていたものを、出来るだけ多くリサイクル することで、製品を製造する際に、新しい資源(原料)を使わなくて すみ、環境にやさしい生活ができていると言えます。

でも、本当に一番環境にやさしい生活って、リサイクルの量を増やすことではなくって、無駄なものを買わないということなのです。

そうすれば、そもそも資源を使うことがありませんから。

学			名	
年	年	組	前	



